

全国国際教育研究協議会 2009(H21)年度全国総会 概要報告

1 日時 2009(H21)年 5月 28日(木)午後 3時より

2 場所 JICA 地球ひろば セミナールーム 302 東京都渋谷区広尾 4-2-24

3 成立要件 本会会則第 11 条に基づき成立 出席都県 20 委任状府県 23 未提出県 4

4 総会概要 *司会 竹山 哲司(全国副事務局長・東京都立六本木高等学校教諭)

開会のことば 松本 光正(全国副会長・東京都立墨田工業高等学校長)

会長挨拶 高田 幸一(東京都立雪谷高等学校長)

*会長挨拶要旨は、別紙プリントを配布

来賓挨拶 JICA 地球ひろば市民参加協力促進課課長 高田 宏仁様

外務省国際協力局 河島 宏明様

拓殖大学国際学部教授 赤石 和則先生

JICE 国際交流部 羽鳥 剛様(ご紹介のみ)

議事 *議長 有里 泰徳(全国常務理事・宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校教諭)

以下の議事は、すべて了承、承認された。

内容的には、ほとんど例年どおりである。2009(H21)年度における大きな変更点は、(7)の英語・日本語弁論大会参加規定見直しであった。

各議事の内容

(1)2008(H20)年度事業報告

・第 45 回全国研究大会埼玉大会報告及びお礼

・研究調査、刊行物の報告...埼玉大会報告書、国際教育・開発教育インフォメーション第 4 号、加盟校名簿

・全国教育連合会表彰報告(前年度島根大会...前島根県立出雲農林高等学校長 佐野 明先生)

・JICA との連携・協力の報告

a)埼玉大会共催...大会プログラム経費支援、来賓(弁論大会審査員兼務)派遣、理事長賞授与、分科会ファシリテーター、その他

b)2008 エッセイコンテスト...応募勸奨、審査協力(1次審査(東北)、2次、最終審査(会長))東北地区をはじめとし、大幅な応募者増となった

c)その他

(2)2008(H20)年度会計決算・監査報告

・幸田 雅夫(全国副事務局長会計・玉川聖学院中高等部教諭)より説明

・監事承認報告(宝槻 広(東京都立一橋高等学校長)欠席のため、全国会長から報告)

(3)2009(H21)年度役員を選出および挨拶

・役員名簿は全国総会冊子に同封

・全国会長 高田 幸一(東京都立雪谷高等学校長)より挨拶(昨年度に引き続き会長)

(4)2009(H21)年度事業計画(案)審議

・研究調査、刊行物の報告...青森大会報告書、国際教育・開発教育インフォメーション第 5 号、加盟校名簿

・全国教育連合会表彰予定(埼玉大会...埼玉県立蕨高等学校長 鈴木 孝義先生)

・JICA との連携・協力

a)青森大会共催...大会印刷物経費支援、来賓(弁論大会審査員兼務)派遣、理事長賞授与、分科会担当、その他 *東北支部からの人的支援を受ける予定

b)2009 エッセイコンテスト...全国国際研として、後援 1次審査 = 関東甲信越静

*2次、3次審査等については、後日協議の予定

c)その他

(5)2009(H21)年度会計予算(案)審議

・幸田 雅夫(全国副事務局長・会計)より説明

全国国際教育研究協議会 2009(H21)年度全国総会 概要報告

(6)第46回全国研究大会青森大会、英語・日本語弁論大会について

- ・青森県会長(遠藤 智久)、事務局長(坪 弘至)より説明
- ・日時 8月21日(金)、22日(土)
- ・会場 青森厚生年金休暇センター 青森県八戸市東白山台 1-1-1
- ・大会テーマ = 「共に生き、共にはたらく」-開発教育の視点から-
- ・例年どおり、英語・日本語弁論大会もあわせて開催
- ・今大会は、東北地区大会を兼ねる...分科会発表は東北6県中心の予定
- ・2日目に地球のステージ(桑山和彦氏 = 山形県医師)を予定

(7)英語・日本語弁論大会規定見直しについて(説明、意見交換のみ)

- ・欠員発生時の手順を明確化
- ・留学生の規定(在日期间)を明示...大会名称変更も模索(全国事務局)
- ・英語弁論...内容重視 = 地球的課題を英語で表現 技術偏重にならないコンテストへ
- ・変更手続き...今年度は各都道府県事務局からの意見集約を行い、来年度の総会で決定
総会決定後、来年度の茨城大会か2011(H23)年度の和歌山大会から適用予定

関係諸機関から事業説明 *再び司会者による進行

- (1)21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS) JICE 羽鳥様より
- (2)2009高校生エッセイコンテスト JOCA 佐藤様より
- (3)グローバル教育コンクール 外務省 河村様 教育出版 細川様より
- (4)拓殖大学国際協力・国際理解賞コンクール 拓大 赤石先生より

諸連絡 *各項目は総会冊子及び資料に同封

- (1)今後の研究大会開催県について
 - (2)加盟校名簿更新作業について
 - (3)会費納入について
 - (4)ブロック補助金申請について
 - (5)国際教育功労者推薦について
 - (6)全国組織の名称変更について
 - (7)WEBについて *(7)(8)齊藤 宏(全国副事務局長・東京都立新宿山吹高等学校教諭)
 - (8)NPO(国際教育協会/JAGE)について
- 閉会のことば 遠藤 智久(全国副会長・青森県立三本木農業高等学校長)

5 当面の課題

- (1)組織の拡充・整備 全国事務局と各都道府県事務局との情報共有、意思疎通の促進
メーリングリスト(@kokusaiken.org)、ブログの活用
空白県(広島、熊本)、活動停滞県(新潟、大分;兵庫、岡山、山口)への対応
- (2)財政基盤の確立
- (3)2012(H24)年度以降の全国研究大会開催地の確保
- (4)NPO(国際教育協会/JAGE)との連携
- (5)弁論大会参加規定の見直し
関係官庁、諸機関との確認...青森大会手続きにあわせて行う(全国会長、事務局長)
- (6)JICAとの連携継続、促進
窓口 = 地球ひろば市民参加協力促進課(課長 高田 宏仁氏)
5月21日に実務的な会合を持ち、従来の事業については、「当面の間」継続を確認
エッセイコンテスト 国際教育・開発教育インフォメーション 全国研究大会の共催
全国事務局との定例会...年2回程度開催へ(実務的な打ち合わせは適宜) 次回...秋以降
(エッセイコンテストに関する意見交換等が今年度の課題か)
- (7)事務局メンバーの刷新、活性化
新しい先生方に加わってもらい、活性化をしていく必要あり *(1)とも関連
以上 文責 全国事務局長 女屋 隆充(東京都立新宿山吹高等学校(通) 教諭)
*連絡先 tk3cehst@yahoo.co.jp(女屋アドレス) 学校 Fax03-5261-9750